

方策1 豊かな水を活かしたまちづくりの推進

具体的な取り組み	内容	まち協 検討結果		地域の現状	進捗状況等 (まとめ)	手法・スケジュールの 見直し理由	手 法 ・ スケジュール			
		部 会	評 価				検討 内容	3年後までに	検討 内容	5年後までに
①水質の保全	河川の清掃活動の日を定め、定期的な河川の清掃を行うとともに、子どもたちの水環境に対する意識の啓発を行う。また、地域内の水環境を完全に整備することで、安全で安心な水質の管理を行う。(合併市町村基本計画付議事項)	にぎわいづくり部会	A (可能)	1. 一部の自治会や多面的機能支払交付金制度を活用している組織については、清掃活動(整備)を実施している。 2. 多面的機能支払交付金制度を活用している組織については、農村環境整備の一環として、生き物調査(子どもたちを含め)を実施し、水環境の大切さなど啓発や整備に努めている。 3. 公共下水道整備事業計画面積(248.2ha)に対する整備率 平成26年度・・・70.3% (実績累計174.4ha) 4. 市広報紙、市HP等で周知している。	1【実施中】 一部の自治会で実施しており、今後、全地域に拡大させていく必要がある。 2【実施中】 一部の自治会で実施しており、今後、全地域に拡大させていく必要がある。 3【実施中】 行政で整備している。 4【実施中】 行政で推進している。	3. 行政で整備推進しているが、整備完了予定スケジュールを5年後までから10年後までに変更。 4. 行政で推進しているため、下水道整備に合わせたスケジュールに変更。	継続 継続 変更 変更	1. 定期的な河川の清掃活動 2. 子どもたちの水環境に対する意識啓発(生き物調査を通じた河川の水質調査等)	3. 公共上下水道の整備推進 4. 合併処理浄化槽設置の推進	3. 公共上下水道の整備推進 4. 合併処理浄化槽設置の推進
②蛍マップの作成 ②蛍の飛び交う環境の保全	蛍の生息地調査を基に蛍マップを作成するとともに、定期的な河川の清掃を行い、蛍が生息しやすい環境を維持する。		にぎわいづくり部会	C (不可能)	1. 環境に配慮した農業(減農薬、減化学肥料)の実施に取り組む農家が増えつつあり、蛍の生息地域は確実に戻りつつある。 H19より国の交付金を利用し、一部地域で実施している。 ・山田川源流の里保全会 ・中里西組みどり保全会 ・地域交流館梵天の湯 豊かな農村環境を有しており、その資源であるほたるの生息地の把握は必要であると考え。自然保護の観点では、公表資料は作成しない方が良いとの意見もある。 2. 1と同じ。 3. 農村環境を維持していくために定期的な河川の清掃は必要であり、一部の自治会や他団体により行っている状況もある。 4. 1と同じ。	1【実施中】 一部の地域で実施している。今後、全地域で生息地調査を行っていく必要がある。 2【未着手】 蛍マップの作成はしていない。 ※一般市民等への配布用ではなく、資料(保存用)として作成する必要があるのではないかと。 3【実施中】 一部地域で実施している。今後、生息地全域で清掃を行う必要がある。 4【未着手】 蛍マップの作成はしていない。集客目的の周知は行わないほうが良いのでは。	2. 生息地を把握する必要はあるが、生息地の保全として活用することから、「(自然環境保全・保護のための資料として活用)」を追加。 3. 蛍の生息地の維持とともに、生息できる環境づくりが必要であることから、「蛍が生息できる環境を作るための河川の清掃」と修正。 4. 蛍が生息できる自然環境保護・維持活動が必要であり、当面、周知用のマップは作成しないため、削除。	継続 追加 修正 削除	1. 蛍の生息地調査 2. 蛍マップの作成(自然環境保全・保護のための資料として活用)	3. 蛍マップに基づく河川の清掃 3. 蛍が生息できる環境を作るための河川の清掃 4. 蛍マップを地域内に周知

③豊かな水の活用	小水力発電を検討し、豊かな水資源を活用したまちづくりに繋げる。	にぎわいづくり部会	C (不可能)	1. 小水力発電については、技術的なノウハウや財源、各所管法令など一部行政主導で行わないと難しい状況がある。 2. 1と同じ	1. 2【未着手】 地域で取り組むには課題が多い。行政主導で検討すべき事業ではないか。	1. 2. 地域で取り組むことは課題が多く行政主導で行う事業と思われるため削除し、3. 行政へ依頼することを追加。	追加	3. 小水力発電の地産地消の可能性を含め行政に依頼	削除	1. 小水力発電の可能性について検討	削除	2. 小水力発電の実施
----------	---------------------------------	-----------	---------	---	--	---	----	---------------------------	----	--------------------	----	-------------

【凡例】

○○○○○…スケジュールの変更・削除 ○○○○○…追加 ○○○○○…修正

※ は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの。

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (手法・スケジュールの見直し検討)

方策2 地域ぐるみの環境保全活動の推進

具体的な取り組み	内容	まち協 検討結果		地域の現状	進捗状況等 (まとめ)	手法・スケジュールの 見直し理由	手 法 ・ スケジュール						
		部 会	評 価				検討 内容	3年後までに	検討 内容	5年後までに	検討 内容	10年後までに	
④ごみ「0」運動の促進	毎月、清掃の日を定め、地域全体で定期的な清掃を行うとともに、地元の小中学生にごみ「0」運動に関する啓発ポスターを依頼し、公共施設に貼付・啓発することで、ごみ「0」の地域を定着させる。	安全・安心部会	A (可能)	<p>1. 市全体の一斉清掃や自治会独自の清掃日を設けて行っている状況はある。</p> <p>2. 1と同じ</p> <p>3. 夏休みの自由研究課題として、地域内3小学校の児童にごみを減らすポスターを募集しており、そのポスターを各自治会公民館や公の施設に貼付し啓発していく予定である。</p> <p>・応募件数…196点 H27.12.20に表彰式を行い、今後ポスター化する。</p>	<p>1【実施中】市内一斉清掃(年3回)実施。今後は、環境美化を図るため清掃活動の回数を増やしていく必要がある</p> <p>2【実施中】上記のほか、地域全体で定期的に清掃活動を実施していく必要がある。</p> <p>3【実施中】小学生を対象に啓発ポスターコンクールを実施。継続開催するとともに看板を作成、設置し「ごみ0」運動を定着させていく必要がある。</p>	<p>3. すでにポスターコンクールを実施しており継続していくことから、「ポスターコンクールの実施及びポスターの作成・啓発(小中学校に参加依頼)」に修正</p>	継続	1. 定期的な自宅周辺の清掃活動を実施					
⑤花とみどりのまちづくり	<p>ガーデニング講座やガーデニングコンテストの開催により、地域ぐるみで景観美化活動を推進する。</p> <p>ガーデニング講座や景観・環境美化活動(ガーデニングを含む)コンテストの開催により、花とみどりのまちづくり活動を推進する。</p>	安全・安心部会	A (可能)	<p>1. 地域の景観美化活動を推進する観点でのガーデニング講座は実施されていない。</p> <p>2. 単位自治会における花壇などは、育成会・老人会などが整備しているところもあるが、ガーデニングコンテストとなると、地域全体や個人への働きかけ等が必要になってくる。</p>	<p>1. 2【未着手】</p>	<p>1. 実施可能なため、スケジュールの前倒し。</p> <p>2. 自治会内で行っている花壇への植栽などの景観・環境美化活動等を対象にコンテストを開催し、地域環境美化に関する機運を高め、地域全体の取り組みとして広めていく必要があるため「景観・環境美化活動(ガーデニングを含む)コンテストの開催」に修正</p>	変更	1. ガーデニング講座の開催 ← - - - - -	← - - - - -	← - - - - -	← - - - - -	← - - - - -	

【凡例】
 ○○○○○…スケジュールの変更・削除 ○○○○○…追 加 ○○○○○…修 正

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (手法・スケジュールの見直し検討)

方策3 耕作放棄地や荒廃森林の有効活用の推進

具体的な取り組み	内容	まち協 検討結果		地域の現状	進捗状況等 (まとめ)	手法・スケジュールの 見直し理由	手 法 ・ スケジュール					
		部 会	評 価				検討 内容	3年後までに	検討 内容	5年後までに	検討 内容	10年後までに
⑥耕作放棄地の再生	耕作放棄地で草花の作付けや農業体験学習を行い、耕作放棄地を有効に活用する。	文化・交流部会	C (不可能)	1. 各関係部署との連携がうまく取れず、また、地権者の意向もあり、進んでいない。 農業委員会より 耕作放棄地 市全体…約83.6ha (内、上河内…約5ha) 2. 個人的に貸す等はしているらしい 3. 耕作放棄地の把握ができていない。 4. 耕作放棄地の把握ができていない。	1～3【未着手】 4【未着手】 耕作放棄地を利用しているの農業体験学習については未着手		継続 継続	1. 耕作放棄地の利用調査 (他事例等) 2. 耕作放棄地の活用方法と場所を選定	継続 継続	3. 耕作放棄地に草花を作付け 4. 耕作放棄地を農業体験学習に利用		
⑦荒廃森林の再生	地域ボランティアの活動協力を得て、荒廃した森林の間伐を推進し、森林全体を健康にしていくとともに、間伐材を有効に活用する。			行政に望むもの		1. 地域ボランティアの確保ができていない。 2. 一部、とちぎの元気な森づくり事業を利用して実施している。	1【未着手】 地域ボランティアの確保ができていない。 2【実施中】 いだらぼうの会ではハイキングコースなどの案内板設置に活用。 とちぎの元気な森づくり事業での活用。	1.ボランティア確保のために、組織体制を整える必要があることから「地域ボランティア組織を育成・確保」に修正。			修正 継続	1. 地域ボランティアの協力を得て、荒廃森林の間伐事業を推進 1. 地域ボランティア組織を育成・確保し、荒廃森林の間伐事業等を推進 2. 間伐材を有効に活用

【凡例】
 ○○○○○…スケジュールの変更・削除 ○○○○○…追 加 ○○○○○…修 正

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (手法・スケジュールの見直し検討)

方策4 自然を活かした景観活用交流の充実

具体的な取り組み	内容	まち協 検討結果		地域の現状	進捗状況等 (まとめ)	手法・スケジュールの 見直し理由	手 法 ・ スケジュール						
		部会	評価				検討内容	3年後までに	検討内容	5年後までに	検討内容	10年後までに	
⑧地域資源の発見	地域資源育成保全を行うボランティアを募集し、地域に眠っている資源を発掘するとともに、発掘した地域資源と梵天の里歩こうマップを連結させ、地区外の人との交流を深める。	にぎわいづくり部会	実施済み	1. 随時会員募集中 2. だいだらぼうの会では、新パンフレット作成のため予算化し、準備を進めている。 3. H23に作成したマップをすでに各公共施設に設置済 4. 景観地の管理として草刈などを実施している。 第17回宇都宮市まちなみ景観賞(平成27年度)において、大賞受賞 ・ 芦沼町の石蔵群の景観 ・ 上田町の玉石積水路と大谷石の景観	1～4【実施中】 1～3については、だいだらぼうの会が中心となり、ボランティアの募集や地域資源の発掘調査、マップ等を作成し公共施設への設置を行っている。 地域資源を保全していくためには、継続してボランティアの確保が必要である。また、随時、マップ等を改訂するとともに設置場所を増やし交流人口を増加させる必要がある。 4 継続して適正な維持管理に務め、保全していく必要がある。	4. すでに実施しているためスケジュールの前倒し。	継続 継続 変更	1. 地域資源育成保全ボランティアの募集 2. 地域資源の発掘調査(梵天の里歩こうマップ等を活用) 4. 美しい景観地や名所旧跡等の維持管理を強化	←-----	継続 継続	3. 発掘した地域資源を小冊子にまとめ、各公共施設に設置 4. 美しい景観地や各所旧跡等の維持管理を強化		
⑨山田川サイクリングロードの整備	山田川サイクリングロードを整備し、サイクリングターミナルを設置するとともに、サイクリングロード沿いを花でいっぱいにする。	にぎわいづくり部会	B(一部可能)	1. 未実施 自転車のまち宇都宮を推進し、今後、未整備箇所の整備を予定。 2. 未実施 3. 未着手 梵天の湯が自転車の駅とされている。	1【未着手】 未着手ではあるが、市で整備を予定している。 2【未着手】 3【未着手】	1. サイクリングロードのエリアを明確にするため、「(上河内区間)」を追加 4. 自転車のまちをさらに推進し、サイクリングでの観光交流人口を増加させる必要があるため、梵天の湯に設置されている「自転車の駅」のPRを追加し、地域機運を盛り上げ、今後の整備促進に繋げていく。	追加	4. 自転車の駅のPR(梵天の湯が指定されている)	修正 継続	1. 山田川サイクリングロードの整備(上河内区間) 2. ロード沿いに花を植栽	継続	3. サイクリングターミナルの設置	
⑩ハイキングコースの整備	羽黒山周辺のハイキングコースを整備し、羽黒山周遊コースと名所旧跡と連結させた地区内ハイキングコースを設定する。	にぎわいづくり部会	A(可能)	1. 既に実施している。 2. 梵天の里歩こうマップを作成している。 梵天の湯では紫陽花ロードや羽黒山神社、だいだら坊の岩などを巡るハイキング事業を実施している。	1. 2【実施中】 だいだらぼうの会で実施しているが、継続して実施していく必要がある。	1. 2. すでに実施しているためスケジュールの前倒し。	変更 変更	1. 羽黒山周辺のハイキングコースを整備 2. 名所旧跡等と連結させ、地区内ハイキングコースを設定	←-----	1. 羽黒山周辺のハイキングコースを整備 2. 名所旧跡等と連結させ、地区内ハイキングコースを設定			
⑪西鬼怒川堤の整備	西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、上河内の桜の名所に位置づけることで、地域内外の人との交流を推進する。	にぎわいづくり部会	C(不可能)	1. 高間木地区に、H26. 12月に同地区有志による黄桜が植栽されたことがある。	1【完了】 高間木地区に黄桜を植栽。 新たに植栽することは、管理などの問題があり難しいため。	高間木地区に黄桜を植栽したことによりスケジュールを前倒しし、西鬼怒川への新たな植栽は難しいため、地域内にある既存の桜を名所として推進するため。	修正	1. 西鬼怒川堤一帯(緑水公園周辺と梵天の湯周辺)の桜(黄桜を含む)を、桜の名所に設定しPR	←-----			1. 西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、桜の名所に設定	

【凡例】

○○○○○…スケジュールの変更・削除 ○○○○○…追加 ○○○○○…修正

※ は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの。

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (手法・スケジュールの見直し検討)

方策5 災害に強い地域づくりの推進

具体的な取り組み	内容	まち協 検討結果		地域の現状	進捗状況等 (まとめ)	手法・スケジュールの 見直し理由	手 法 ・ スケジュール					
		部 会	評 価				検討 内容	3年後までに	検討 内容	5年後までに	検討 内容	10年後までに
⑫災害対策の強化	災害に関する地域調査を行い、地域に合った災害対策を検討するとともに、多くの住民参加による防災訓練を通じ、各自治会の連携を強化するなどして防災意識を高める。	安全・安心部会	A (可能)	1. 行政で災害に関する地域調査を実施し、ハザードマップを作成しているが、地域としての調査・作成は行っていない。 2. 1と同じ 3. 地区防災会主体で地区の防災訓練を実施しており、平成27年度より3年間学校区単位で訓練を開催し、4年目に全体で実施する予定である。 4. 地区防災会において、年に1回地区防災倉庫等の点検を行っており、今後も継続していく。	1【未着手】行政では調査を行っているが、地域としては未着手。 2【未着手】行政ではハザードマップの作成を行っているが、地域としては未着手。 3. 4【実施中】地域で防災訓練を実施し、非常用具を防災倉庫等に保管しているが、継続して実施、適正な維持管理をしていく必要がある。 4. 継続的な維持管理をしていく必要があるため、「適正保管」から「適正な維持管理」と修正	継続 継続 継続 修正	1. 災害に関する地域調査 2. 上河内版ハザードマップの作成 3. 地域全体で防災訓練を実施 4. 災害時緊急用具を適正保管 4. 災害時緊急用具の適正な維持管理					
⑬井戸水マップの作成	地域にある井戸水調査(場所・水質)を行い、調査に基づく井戸水マップを作成することで、災害時の飲料水を確保する。	安全・安心部会	A (可能)	1. 地域としての調査・作成等は行っていない。 2. 1と同じ 3. 1と同じ	1～3【未着手】	継続 継続	1. 地域にある井戸水調査(場所・水質) 2. 井戸水マップの作成	継続	3. つるべ井戸の設置			

【凡例】
 ○○○○○○…スケジュールの変更・削除 ○○○○○○…追 加 ○○○○○○…修 正